

ヤマハ音楽振興会 職員同窓会通信

第32号 2017年1月発行

目次

年頭のご挨拶	1
第9回ヤマハ音楽振興会職員同窓会「大懇親会」	2～3
同好会レポート(テニス・ゴルフ・コーラス)	4～5
第10回記念大懇親会、Facebook、TOPIC	6
一言メッセージ集	7～12

年頭のご挨拶

ヤマハ音楽振興会職員同窓会 会長

酒井勉

全国の同窓会員の皆さま、新年あけましておめでとうでございます。今年も皆さまにとって、実り多き一年になりますようお願いしております。

さて、昨年11月26日に、第9回目となります職員同窓会大懇親会を開催いたしました。毎回ご参加いただく方、遠方からお越しの方、そして、初めて参加された方など、多くの皆さまのご参加により盛大に催すことができました。これも会員の皆さまのご理解・ご協力と、財団本部、東日本ヤマハO.B会のご支援の賜物と厚く御礼を申し上げます。特に第1回目から、職員同窓会の立ち上げに始まり、年数回の打ち合わせ、「同窓会通信」の編集、印刷、発送と、1年を通して懸命にご尽力をいただいた事務局スタッフの努力があったのであり

ます。事務局スタッフは、当初からの主旨である「共に財団で働いた人とのつながりを大切に」をモットーに、この大懇親会を目指して、様々な事柄を解決すべく活動しております。ここで彼らに心から感謝を申し上げます。

本年はいよいよ記念すべき第10回目の大懇親会の開催となります。少しでも皆さまに喜んでいただけるような内容を企画すべく準備をしたいと考えておりますが、どうか新しい提案や、多くの方の事務局スタッフへのご参加をお待ちしたいと、この場をかりてお願い申し上げます。そして、皆さまがお元気なお姿で大懇親会にお出かけいただき、お目にかかれることを楽しみにしております。



第9回ヤマハ音楽振興会職員同窓会 大懇親会 (2016年11月26日) より

第9回ヤマハ音楽振興会職員同窓会

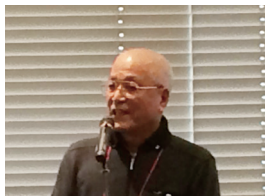
大懇親会

2016年11月26日

2016年11月26日、第9回ヤマハ音楽振興会職員同窓会大懇親会がクルーズクルーズ新宿で開催されました。当日は、数日前の初雪から一転快晴に恵まれ、折からの強い北風も、年に一度の大懇親会を後押ししているような清々しさを感じさせました。本号ではまず、その時の模様からお伝えいたします（本文中の日付は11月26日時点）。

午前11時開場。受付では「久しぶり」「元気でしたか」などの挨拶とともに、笑顔に包まれました。集ったのは、来賓の方々と合唱団員の皆さんを含めて約90人。記念撮影後の11時30分過ぎ、大懇親会は川口哲生さんの司会の下、酒井勉会長（写真）の一声からスタートしました。

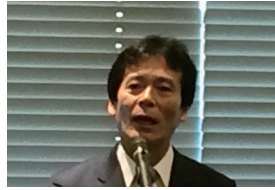
「皆さんこんにちは。ようこそお集まりいただきました。久しぶりにお会いするとおそらく、『あそこが痛かった』とか、『ここが悪かった』とか、そんな話で始まるんだと思いますが、今日はもっともっと楽しい話や“今”やっていることなど、いっぱい話をして旧交を温めていただければと思います」（財団職員同窓会会長・酒井勉）



続いて来賓のお二人。ヤマハ音楽振興会の功刀渉理事（写真右列上）と東日本ヤマハOB会・齋藤和男会長（写真右列中）からスピーチをいただきました。

功刀理事から財団の近況。ヤマハ音楽教室が「3年ぶりに顧客満足度NO1に返り咲きました」と嬉しい報告に続いて、海外教室の組織変更の説明がありました。それに

よると、海外教室は現地法人との連携業務を財団からヤマハ株式会社に移管。財団は「海外に対する、ソフトの供給に専念する体制」になりました。一方、国内では幼児科の募集が前年比100%を越えたこともメッセージされました。



齋藤会長からは、「ヤマハブランドの下で一緒に仕事をした仲間が、リタイア後も集まって充実した人生を過ごそう」という、OB会の主旨説明がありました。東日本ヤマハOB会の会員数は約670名。関東地区では約550名の参加者があり、20の同好会活動を中心に据えていること。同好会への参加は、OB会の会員に限らず、配偶者の方や現役の方も可能。最近では女性の参加が増え“和やかで楽しい”同好会になっているそうです。なお、20の同好会には、新設された「江戸探訪の会」と「酒文化探訪の会」が含まれます。詳しくは、ホームページ <http://yob-tky.net/>。事務局 巖川昌代さんからも、同好会の案内が補足されました。



乾杯の発声 懇親会がスタート

いよいよ懇親会の開始です。乾杯の発声は、大懇親会初参加の杉山久仁夫（写真下）さん。突然の指名で、驚かれたことと思います。

「6月に退職しました杉山です。多くの先輩方を前に、僭越ですが乾杯の音頭をとらせていただきたいと思います。



会社を辞めてから暗くなるのを待たずに、昼から飲んでしまう機会があるんです。今日も12時を越えて、いい時間になってまいりました。それでは、皆様方の“ご健康”、それからヤマハ音楽振興会のこれからの“夢”

植岡奈穂さん

旧姓 姥原です。財団ではずっと音教畑にいます。グレードそれから音教指導部そのあたりを担当してました。今から18年くらい前に子供が生まれた時点で辞めさせていただきまして。今は、テニスを週に一回やっています。専業主婦なのでマイペースで生活しています。

今日、初めて参加させていただいて、指導部の先生の方々がたくさんいらっしゃって、すごく懐かし

渡辺 章さん

初めて大懇親会に参加しました。ヤマハには91年から2001年までお世話になり、最初の頃はJOCのことで海外生活が長く、日本人としても社会人としても中途半端。心優しい先輩の方に鍛えられて、なんとかまっとうな人間に近づいたかなと思っています。

2001年に朝日新聞社に転職した後も、引き続き音楽関係の仕事をしていきます。入社してしばらく経って、身にしみるようによく分かったのは、ヤマハで培った人脈や人間関係がほぼそのまま、今の仕事に

20周年記念公演を担当したり、私が大阪で5年間、再開発に携わったフェスティバルホールでは、こけら落とし（2013年）に、中島みゆきさんや矢井田瞳さんに出演いただきました。今日は本当にありがとうございました。

2016年11月26日、第9回ヤマハ音楽振興会職員同窓会大懇親会がクルーズクルーズ新宿で開催されました。当日は、数日前の初雪から一転快晴に恵まれ、折からの強い北風も、年に一度の大懇親会を後押ししているような清々しさを感じさせました。本号ではまず、その時の模様からお伝えいたします（本文中の日付は11月26日時点）。

と、今日のこれからが楽しい一日になりますように。それと最後に“音楽”に乾杯をしたいと思います。ではご唱和下さい。乾杯！」

それまでの総会とは打って変わって、砕けた雰囲気。昼食時でもあり、まずは腹ごしらえ。buffetには長蛇の列ができました。料理は盛りだくさん。ローストポークに唐揚げ、鮭に鮭のにぎり寿司に加えて太巻き。あこう鯛に舞茸とししとうの天麩羅等々、全11皿以上。あっという間に、なくなっていきます。ついに、3巡目に突入した料理も。皆さんの食欲に圧倒されました。旧交を温めた結果が現れたのかもしれませんが。



懇親会時に、初参加者の紹介がありました(下記掲載)。また、山室紘一先生から、〈つま恋有志の会(11月30日)〉の案内がありました。後日談によると、夜中までPOP CON 当時を語り合い、EH(エキジビジョンホール)では、ステージや録音ブースなどを懐かしんだそうです。

圧巻の演奏 ヤマハOB混声合唱団が登場

大懇親会のメインイベントの時間になりました。ヤマハOB混声合唱団の登場です。演奏の前に、合唱団からのメッセージが代読されました。「今年も参加する機会を与えて下さり、ありがとうございます。こうして公の場で歌うことが、日ごろの練習の励みになり、私たちの一番の喜びでございます。この合唱団の



「糸」の合唱シーン

すごいとことは、指導者、指揮者、練習時の伴奏、編曲者そしてソリスト等々、全て会員(しかも財団ヤマハの同窓会員)でまかなえるということです。当初は21人でスタートしましたが、丸三年を経て、39人という立派な団体になりました。体調のこと、介護のこと、孫のこと、仕事のことなどで、休眠中の人もいて、だいたい30人前後の人が月2回の練習を楽しんでいます。前に並んだメンバーの中には、ご覧の通りたくさんの方の財団同窓会会員も多く参加しています。もし皆さんの中に、コーラスに興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら、是非ご参加下さい。初心者でも大歓迎です(紙面の都合で一部、割愛しました)。

いよいよ演奏です。演奏曲は「慕情」と「糸」。「慕情」はご存知の通り同名映画の主題歌で、森内秀夫さんの指揮により演奏されました。映画のシーンを思い起こしました。「糸」は、中島みゆきさんが1992年にアルバム『EAST ASIA』の中で発表した曲。難波陽一さん指揮により、曲の半ばから会場に集う全員で大合唱をしました。

14時を回ったところで、終宴を迎えることに。

中締めは酒井会長の音頭で“五本締め”(写真右)。温かくなった気持ちを胸に散会しました。



和泉利子さん

今年(2016)、OBデビューをさせていただきました。私の最後の仕事と想ってやっただけですが、来年(2017)もやることになりました。

皆さまのお手元に、『僕らのポップコングレイズ』コンサートのパンフレットをお配りしております。今年初めてやりまして、石川優子とチャゲの「ふたりの愛ランド」が聞けたり、会場には鳥野(隆弘)さんや奥島(吉雄)さんをはじめ皆

『僕らのポップコングレイズ』公演の案内は6ページに掲載

藤巻春美さん

この5月にめでたくといまましょうか、還暦を迎えて、定年退職をいたしました。今は、これまでになもやってこなかった分、家事をして専業主婦的なことをしています。

財団では最初に、事業部プロダクション課のあと制作宣伝課にありまして和泉さんらと仕事をしていました。その後は出向生活で、最後は事業部的なところでお仕事をしていました。

当時の思い出として、先ほどすぐく久しぶりに上林(健吾)さんとお会いしまして、新人だったころ、宣伝のみんなが新年会にお邪魔したこと。相対に飲んだくれて、すぐく大変だった」というのが、今、思い出されました。

ゴルフを続けております。OB会は新人ですけど、すでに財団のゴルフ同好会のコンペに参加しております。

初参加の皆さんの声

テニス同好会

2016年秋期河口湖合宿レポート

大屋 洵



10月24日秋晴れの河口湖、紅葉がはじまった富士山山麓にあるリゾートホテルのテニスコートで、秋のテニス合宿が始まった。集合したメンバー17名は、そば屋で昼食後、運命のトランプカードをひき、各人の番号が確定。これで、パートナーと対戦相手が決まる。アットランダムなので、運不運がついて回る。不運を乗り越えて頑張らないと優勝という名誉はやってこない。二日間でダブルス6試合(4セット先取したペアが勝ち)をおこない、獲得したゲーム数がポイント(P)となる。但し、前回の春合宿での上位3名と下位3名がハンディキャップをもらう。前回優勝者(-3P)が全勝でも24-3=21で、連覇しにくいシステムにしている。皆さんに優勝の可能性があるよう、システムを考えた。

さて、今回財団OBは、毎回優勝候補の上林さん、毎回上位の金森さん、そして小生(大屋)の3人が参加。また海外事業で活躍された安田さんが初参加。2面のコートで寒さを吹き飛ばし熱戦が展開された。

初日夕食後、嬉野さん録画のVTRを鑑賞。各自のプレイ

スタイル、フォームをみて、大いに反省。皆さん異口同音に「大変勉強になった」と。

翌日は、曇りで寒い中、初日3戦全勝の金森ペアと山内ペアが対戦、金森ペアが圧勝。金森さんは、肩痛のためか、日ごろのパワフルなショットはなく、丁寧なショットで、残り2試合も勝利。全勝で優勝の栄誉を勝ち取った。「パートナーの皆さん、ありがとうございました。また対戦相手にも恵まれ(笑い)、何時もは万年3位でしたが、今回は優勝できました。

肩が痛く、力を抜いてボールを打っていたのが良かったかと思っています。ありがとうございました」金森さんの優勝者の挨拶で合宿を締めくくった。

次回は、来年5月下旬御殿場の時の栖で合宿を予定。テニスを楽しんでいる方、過去経験のある方、是非参加してください。楽しいですよ!!

(敬称略)

順位	プレイヤー	勝敗	取得ポイント
優勝	金森	6勝全勝	24
2位	山内	5勝1敗	20
3位T	安田	4勝2敗	19
3位T	夏原(麗)	4勝2敗	19



優勝の金森さん(左)
前回優勝の上林さん(上)

ゴルフ同好会

第29回および第30回財団ヤマハOBゴルフ懇親会レポート

鳥野 隆弘

今回は夏秋の2回分の結果をご報告します。

第29回財団ヤマハOBゴルフ懇親会は、2016年7月29日。猛暑の中、竈坂ゴルフコースで開催されました。

参加者5組17名によるハンディキャップ戦です。

優勝者は雑賀辰雄さんで2011年第16回大会以来になります。同時にベストグロス87の成績でした。3位入賞およびニアピン賞は以下のとおりとなりました。

(敬称略)

順位	プレイヤー	GROSS(OUT/IN)	HDCP	NET
優勝	雑賀辰雄	87(46/41)	18	69
準優勝	北條哲男	99(48/51)	29	70
3位	山田和伸	88(45/43)	15	73

ニアピン賞 ■ 2H: 小島博 8H: 15H: 雑賀辰雄
11H: 該当者なし



プレイ前の記念撮影



優勝の雑賀辰雄氏に
幹事の斎藤和男さんから授与



プレイ前の記念撮影



優勝の永井口咲子さんに
幹事の雑賀辰雄さんから授与

次に、2016年11月10日に開催された第30回記念大会をご報告します。

前日の木枯らし1号の後、当日は12月並みの寒さと後半雨が降り出す悪天候でしたが、4組15名が冠雪の富士山が見える裾野カンツリー倶楽部で無事終了しました。

優勝者は財団現役の永井口咲子さん、女性では3人目の優勝者になります。

3位入賞およびニアピン賞は以下の通りです。 (敬称略)

順位	プレイヤー	GROSS(OUT/IN)	HDCP	NET
優勝	永井口咲子	107(54/53)	34	73
準優勝	増子明美	115(60/55)	40	75
3位	大屋 洵	91(43/48)	14	77

ニアピン賞 ■ 4H: 榎野 慈 8H: 山田和伸 12H: 増子明美
17H: 鳥野隆弘

ゴルフ同好会のお問合せ

世話役: 鳥野隆弘まで、お気軽に連絡を!
unofamily@jcom.home.ne.jp

コーラス同好会

第9回ヤマハ音楽振興会職員同窓会 大懇親会で演奏!!

小坂 千賀子



2年前、東日本ヤマハOB会コーラス同好会が初めて財団同窓会大懇親会で演奏を披露してくださいました。学生時代にコーラスを楽しんでいたのに、卒業してからは歌を忘れたカナリア(?)だった私は、熱心な勧誘におされ入会しました。同好会の皆さんに暖かく迎え入れていただき、港区、目黒区の公共施設で月2回の練習に参加。生駒先生のピアノ伴奏でラジオ体操、体がほぐれたところで難波先生、森内先生指導で発声練習、そして楽曲の練習をします。夏からは、英語の発音に苦労しながらの「慕情」、リズムがなかなかそろわない「糸」も練習を重ねるたびに良くなって、映画のシーンを思い浮かべ、歌の意味を思い語りかけるように歌って仕上げました。

大懇親会当日は、開場の1時間前に集合してリハーサル。その後は会場の一角に用意された席で懇親会の開始を待ちました。開宴し料理が出ると、いち早く飲み物食べ物を取りに行きます。メンバーは飲みすぎないようにとのご注意ですが、例年よりもバラエティに富んで美味しくなった料理に満足でした。

そして合唱団の定番! 宴会の場での演奏とはいえ、皆さんが語らいや食事の手を止め注目してくれているのを感じ、緊張しながらも楽しく歌えました。映画のシーンを思い浮かべながらの「慕情」、そろえて歌えた「糸」に、改めてヤマハでの“絆”を感じました。

(写真: 2016年11月26日大懇親会より)



演奏シーン(上)
記念撮影(左)

来年度ヤマハ音楽振興会職員同窓会大懇親会に向けて

Skype で繋ぐ大懇親会～参加したい人がそこにいる、参加できない人もそこにいる！

さて、今年は節目の第10回記念同窓会大懇親会になります。

今までも遠方から来ていただいた方もいらっしゃいますが、なかなか行けないという方が多いかと推察されます。

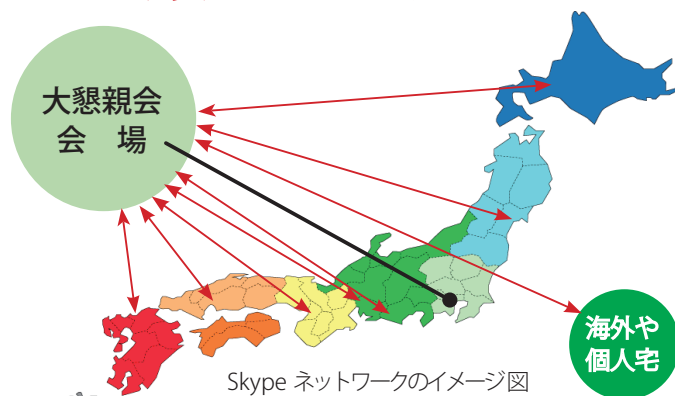
「10回記念だからはるばる東京まで行くぞ！！」という方はもちろん大歓迎ですが、「地方から行くのは無理じゃ!!」という方のために、「スマート同窓会“参加したい人がそこにいる、参加できない人もそこにいる”」という企画を計画しております。

その内容は、会員のお住まいのエリア別に集まっています。

“東京の会場とお集まりいただいた会場をスマホやパソコンで Web テレビ電話 (アプリ: Skype) に繋いで、同じ時間を過ごそう”

というものです。

各エリアで世話人になって頂く方を決めさせて頂き、



事務局メンバーと連携を取りながら進めたいと思います。

ひとりでも多くの皆様が、どこからでも参加できる同窓会大懇親会になるよう、事務局メンバー頑張りますので、ご協力よろしくお祈いします。

改めて、各地で世話人になって頂く候補者の方に事務局よりご連絡させていただきまますので、是非ご快諾いただけますようお願いいたします。

Facebook

「ヤマハ音楽振興会職員同窓会」(非公開)のグループのお知らせ

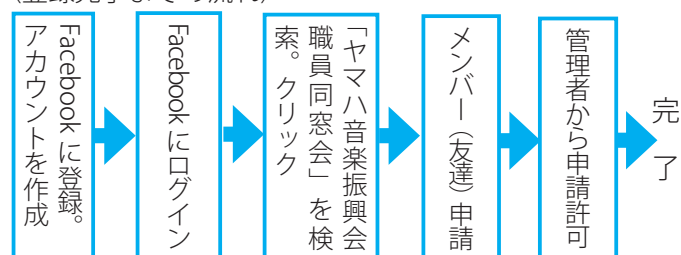


同窓会に登録されている方のみ参加可能な非公開グループです。

会員同士や、会員と事務局が頻りに双方向の情報交流をすることを可能にしたい。大勢の方がこのグループのメンバーとなり、活発な投稿と交流を行っていただきたい。と、事務局メンバーが管理者となり昨年開設いたしました。

現在 37 名の方が参加しています。

〈登録完了までの流れ〉



非公開グループですので、同窓会仲間の近況や情報交換など安心して書き込みが可能です。

フェイスブックを利用されている方でまだ参加されていない方は、Facebookにて「ヤマハ音楽振興会職員同窓会」を検索していただき、是非友達申請をお願いします！

★フェイスブックの利用方法、「ヤマハ音楽振興会職員同窓会」への友達申請の方法などが不明な方は、下記の事務局メールアドレスにご連絡ください。

〈事務局メールアドレス〉

Facebookのほか、ご感想・ご意見、お問合せなどは下記のアドレスまで。追って、事務局より返信させていただきます。

z.dousoukai@gmail.com

TOPIC

昨年、拍手喝采で終えた「僕らのポップコンエイジ」コンサートが今年(2017)も開催されます。

出演は、相曽晴日、石川優子、因幡晃、辛島美登里、小坂明子、庄野真代、杉山清貴、鈴木康博、スリーハンサムズ、谷山浩子、三浦和人、森川美穂、八神純子、Chage 等。

公演は、5月7日府中の森芸術劇場・どりーむホール。5月12日オリックス劇場(大阪)。5月14日よこすか芸術劇場。5月20日市川市文化会館・大ホールの4会場。公演の詳細や出演者の最新情報は <http://popconage.com/> まで

ヤマハ音楽振興会職員同窓会通信 第32号

2017年1月31日発行

発行元：ヤマハ音楽振興会職員同窓会

発行人：酒井勉

編集長：石原勝年 副編集長：菅義夫

編集委員：荒井輝四郎 生駒芳正 石井ふみ子 鳥野隆弘
大野陸雄 緒方実 西岡晃 (50音順)